

第22回 JICFカップ 女子オープントラック&ロードレース大会 大会要項

ver20210402

- 主催：日本学生自転車競技連盟
協賛：井上ゴム工業株式会社 株式会社イノアックコーポレーション 株式会社日直商会 (順不同)
期日：2021年5月4日(火・祝) 12時40分トラック競技開始
2021年5月16日(日) 9時00分ロード競技開始
- 会場：トラック：長野県松本市美鈴湖自転車競技場(333.33m)
ロード：群馬県利根郡みなかみ町新巻3853 群馬サイクルスポーツセンター/6kmサーキット
- 大会主旨：女子競技者の育成・強化・普及・拡大に寄与することを目的とする。
競技種目：トラック4種目、ロード1種目、合計5種目により総合成績を競うオムニウム・レースとする。
トラックレース(200mFTT, IP, ポイントレース, 500mTT), 個人ロードレース48km(6km×8周回)
- 参加資格：1. 当年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟(以下「JCF」という)登録の女子選手で、日本学生自転車競技連盟(以下「本連盟」という)が参加を認めた者とする。本連盟の登録選手であることは問わない。
2. 総合順位は全種目に参加した者を対象とする。任意の種目のみの参加を認めるが、総合順位の対象にはならない。
3. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一が生じた如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。
- 参加申込：1. 参加を希望する選手は、所定の様式にて本連盟事務局まで申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス(2020jicf.championship@gmail.com)への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはFAXにて事務局宛、期限内に送付する事。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。概ね大会開催2週間前を目処に本連盟ウェブサイトにて受付完了者リストを公表するので、各自確認のこと。なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
2. また、体調管理シートを当連盟HPよりダウンロードして、選手は当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録して、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。
3. 参加料は、1名につき8,000円(学連登録選手は6,000円)とする。申込期限および参加料納入期限は、4月12日(月)必着とする。
参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、振込元に大会コード名0504と、学校単位の場合は学校名を、個人参加については参加者名が分かるように記入すること。
振込先 長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通口座9686165 口座名義 日本学生自転車競技連盟
4. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
5. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを課さないこととする。但し、必ず事前に事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合には参加料は返却しない。
6. また、申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。
- 会場入場：1. 本大会はトラック、ロードとも無観客大会とする。
2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手1名につきスタッフ1名を上限として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、個人エントリーの場合はスタッフを最大2名までとする。また、チームスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、トラック、ロードとも会場への入場を許可しない。また、チームスタッフの選手以外の方の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、トラックでは競技場内への入場を許可しないと同時にインフィールド内への立ち入りも許可しない。インフィールド内への立ち入りできる人数についてはJCF規則の他、コミュニケにて人数を制限する。
3. チームスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、トラックは大会開催3日前の5月1日(土)22時までに、ロードは大会開催3日前の5月13日(木)22時までに当連盟事務局宛にて変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフの体調・体温についても大会開催14日前からの記録を同様に提出可能にすることを条件とする。
4. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、トラック、ロードの大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛ご提出ください。また、選手の参加資格

3.にありますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催14日前からの体調・体温についての記録を記入して大会当日に大会本部に提出して頂く必要があります。但し状況により来場をお断りする場合がありますのでご理解ください。

- 選手受付：1. ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。別途コミニク発表の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。
2. 参加者は、トラックにおいては自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。また、自転車器材については基本的に選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。詳細は別途発表するコミニクにて確認すること。ロードにおいては、出走前のバイクチェック、出走サインは行わない。また、トラック、ロードともレース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。
3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。

総合順位：各種目の順位合計が最少の者を勝者として総合順位を決定する。同点の場合、タイムトライアル系競技の累積タイムの小さい者を上位とする。

賞典：1. 開会式・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。

2. 総合優勝：賞品・賞状、2・3位：賞品・賞状、4～6位：賞状、種目毎1～3位：賞状尚、総合優勝とロードレースのみの表彰式を行い、トラックの種目ごとの表彰式は行わない。

3. 表彰式は第3位以上のみ競技場内に行うが、時間・場所・式進行上の注意等については別途発表のコミニクにて詳細を確認すること。

事故措置：1. 競技中発生した事故等につき、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応の事。

2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア408
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

大会特別規則

第1条（オムニウム）トラックにおける200mFTT, 3kmIP, 10kmポイント・レース, 500mTTおよびロードレースの5種目とする。

第2条（成績）総合成績は全種目に参加した者を対象とし、各種目の順位数の合計の少ない順に総合順位を決定する。但し、各種目の順位数はオムニウム不参加の者も含めた順位で計算する。順位合計が同じである場合は、タイムトライアル系種目の累積タイムの小さいものを上位とする。

第3条（ギア比制限）トラックのユース選手のギア比は年齢カテゴリー別の制限を適用する。ロードについては、ユース、ジュニア選手ともギア比の制限は翌年3月31日時点の年齢を以て適用する。レースの前後に適宜ギア比の検査を行うことがある。

第4条（ポイント・レース）10kmで行う。

第5条（IP）エリート、ジュニア、ユースともすべて3kmで行い、成績は計測タイムで順位を付ける。

第6条（個人ロードレース）

1. 競技：認められた事故の場合、代車（バイクチェックを事前に受けること）、代輪の交換はゴール手前ピットにおいて可能とするが、基本的に各チーム1名のみの待機とし、チーム同士の間隔を審判役員の指示した通りにあけること。また、本大会においては認められる事故によるニュートラリゼーションの適用はない。
2. 器材補給：主催者にて共通器材車を用意する。これに積載する代輪は、各参加者にて用意し、スタート地点に持参すること。また、当連盟所有の代輪を若干数は用意するが、ディスクブレーキ用のホイールは用意しない。
3. 飲料補給：飲料の補給は、別途コミニク発表の「補給エリア」にてのみ認める。補給許可周回数は別途コミニクにて告知する。
4. 失格の取扱い：主集団より一定時間遅れた選手及びコミッセルが完走不可能と判断した選手は、失格とし競技より除外する。打ち切り時間は別途コミニクにて定める。競技を中止あるいは除外された選手は、速やかにゼッケンを外すか、ユニフォームを裏返してゼッケンを見えなくすること。ゼッケンとプレートは、返却する必要はないが、必ず持ち帰ること。
5. 一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ベル・反射テープの装着も必須とする。

誓約書

日本学生自転車競技連盟
会長 村岡 功 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004, JCF 規則第5条2.(4))
- 2 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF 規則第5条2.(9)準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。
彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。
すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。
競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。
競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)

以上

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。